

津山の歴史・文化にふれてもらいました
～岡山大学・ライデン大学学生津山訪問～（2018/6/9）

6月9日、ライデン大学学生4名と岡山大学学生3名が津山市内を訪れ、津山洋学資料館の見学・作州絣工芸館で体験等を行い、蘭学発祥の地オランダと津山の深い結びつきや伝統工芸の作州絣での手織りコースター作りなど、津山の歴史や文化にふれてもらいました。

ライデン大学は1575年に設立されたオランダ王国最古の大学であり、医学部、人文科学部、社会・行動科学部など7つの学部で約2万7千人の学生が在籍し、英語による国際的な教育プログラムが行われています。人文・社会科学、自然科学のいずれの研究分野においても、ノーベル賞受賞者を数多く輩出する世界トップレベルの総合大学です。また、1855年に世界で最初に日本学科を開設した大学としても知られており、世界でも有数の日本学研究拠点でもあります。

岡山大学では、今年度からライデン大学人文学部日本学科の留学生を受け入れしており、留学生は4月より3カ月間、日本語、日本文化、岡山地域研究のカリキュラムを受講しています。

今回の津山訪問は、当所が岡山大学と包括的連携協定を締結している「岡山大学津山スクール」の地域交流事業の一環として実施し、今後も受入支援を行っていく予定です。

